

平成14年5月13日

金融庁長官
森 昭 治 殿

小川信用組合

金融整理管財人 今 井 孝 至



金融整理管財人 田 島 二 三 夫



預金保険法第80条に基づく「業務及び財産の状況等に関する報告」及び
「経営に関する計画」の提出について

当組合の業務につきまして、日頃より格別のご高配を賜り、誠に有難く厚くお礼申し上げます。

さて、預金保険法第80条の規程に基づき、別添のとおり報告書及び計画書を提出いたします。

目 次

頁

1. 業務及び財産の状況等に関する報告	
1. 管理を命ずる処分を受けるに至った経緯等について	
(1) はじめに	1
(2) 経営破綻の原因	1
①当組合をとりまく経営環境と経営状況	1
②経営破綻に至った経緯	1
③破綻に至った要因	2
(3) 管理を命ずる処分までの状況	2
①資本の状況	2
②自己資本回復の断念	2
2. 業務及び財産の状況について	
(1) 与信業務	2
(2) 預金業務	3
(3) 投資等業務	3
①投資有価証券	3
②商品有価証券	4
(4) 固定資産の状況	4
(5) 不良債権の状況	4
(6) 関連会社の状況	5
3. 事業譲渡等の見込みについて	
(1) 基本方針	5
①早期譲渡	5
②優良な顧客基盤・資産の維持	5
③経費の削減	5
④地域金融機能の維持	5
⑤内部管理体制の整備	5
⑥責任追及体制の整備	5
(2) 具体的施策	5
(3) 事業譲渡の見込み	6

II. 経営に関する計画

頁

1. 「経営に関する計画」の基本方針	
(1) 円滑な事業譲渡の早期実施	7
(2) 業務の暫定的な維持継続による金融仲介機能の維持、 優良な顧客基盤の維持	7
(3) 公的費用の極小化	7
(4) 地域経済への配慮	7
(5) 内部管理体制の確立	7
(6) 旧経営陣等の責任追及体制の確立等	7
2. 業務の暫定的な維持継続による金融仲介機能の維持の方針	
(1) 基本運営方針	8
(2) 管財人会議、業務運営会議の設置	8
(3) 個別業務運営方針	8
①与信業務運営方針	8
②資金調達業務運営方針	9
③投資業務運営方針	9
④経費運営方針	9
⑤その他の業務運営方針	9
3. 事業譲渡等を円滑に行うための方策	
(1) 経営責任の明確化	10
①旧経営陣の辞任等	10
②役員退職慰労金	10
(2) 経費の削減	10
①人員及び人件費の削減	10
②物件費の削減	10
(3) 店舗統廃合	10
(4) 保有資産の処分	11
(5) 内部管理体制の整備	11
(6) 関連会社の整理	11
(7) 不良債権の回収強化	11
4. 法令等の遵守	11
5. 預金保険法第83条に定められた措置を 効果的に実施するための体制整備等	11

1. 業務及び財産の状況等に関する報告

1. 管理を命ずる処分を受けるに至った経緯等について

(1) はじめに

当組合は、平成13年12月7日、預金保険法第74条第5項に基づき、金融庁長官に対し、「その財産をもって債務を完済することができない」状況にある旨の申出を行いました。

これを受けて、同日、金融庁長官より同法第74条第1項に基づき「金融整理管財人による業務及び財産の管理を命ずる処分」（以下「管理を命ずる処分」という。）を受けました。

また、金融整理管財人は同日付で同法第80条に基づく「業務及び財産の状況等に関する報告及び経営に関する計画の作成命令」を受け、当組合の業務及び財産の状況等につき調査を行いましたので以下のとおりご報告いたします。

なお、本調査作業につきましては、平成13年12月7日に選任されてから直ちに開始いたしました。しかしながら、時間的制約等もあり本報告書の内容について必ずしも十分ではないと思われる事項もあります。

しかしながら、同法第83条に基づく旧経営陣の民事上や刑事上の責任を明確にするための調査を続行しておりますので、これにつきましても、後日、より明らかにできるものと考えております。

(2) 経営破綻の原因

①当組合をとりまく経営環境と経営状況

当組合は、昭和26年10月8日、栃木県那須郡内に居住する地域住民の企業活動と生活の向上を目的として設立されました。営業地域については小川町を中心とした栃木県北地区を主要営業基盤とし、店舗は小川町に本店、その他支店1店舗（南那須町）出張所1店舗（烏山町）で営業しております。営業体制は主として訪問・集金活動により小口の預金を集め、それを地域の中小零細企業者等に対して融資する等地域密着経営を行ってまいりました。特に小川町及び湯津上村では他金融機関（JA・郵便局をのぞく）がないこともあり地元住民への金融サービスの提供に努めてまいりました。

②経営破綻に至った経緯

協同組織金融機関として組合員への資金提供等業容拡大を図ってまいりましたが、バブル崩壊以降景気の長期低迷等によって、主要取引業態である建設業、不動産業を中心に経営の悪化する取引先が続出し、貸出金の不良債権化が進むこととなりました。

また、内部牽制機能の形骸化から協同組合による金融事業に関する法律（以下「協金法」という）第6条で準用する銀行法第13条に反する同一人に対する信用の供与等の限度額を大幅に超える貸出が行われた結果、特にこれら大口の貸出が不良債権化したこと、加えて市況の悪化による有価証券の処理等により、平成13年3月期決算においては自己資本比率が2.74%となりました。これに伴い、平成13年6月、協金法第6条第1項において準用する銀行法第26条第1項の規定に基づく第一区分の業務改善命令により、経営の健全性を確保するため

の改善計画を提出いたしました。この計画に基づきリストラの推進、自己資本の改善、不良債権の整理回収を進めてまいりましたが、資産の劣化の状況を確認するため平成13年9月末日を基準日とした自己査定を実施したところ、新たに貸出金償却・引当金119百万円が必要になり、また、有価証券の評価損も256百万円となったこと等から、414百万円の債務超過に陥ることが判明しました。こうした中、預金者等の取引先の信頼を維持することは困難であると判断し、自主再建を断念し、破綻を公表することになりました。

③破綻に至った要因

基本的には融資審査内容にも資金使途の確認や担保の調査等に不明・不十分な点が見られることや、貸出金の回収・管理面でも貸出先の業況把握等事後管理が十分とは言えず、また優良取引先の確保等融資基盤拡充の努力、大口債権化の抑制など融資資産内容の健全化への施策も有効に講じてきた跡が見られず、更に、有価証券運用におけるリスクに対する認識が不十分であったことから多額の損失を計上する等貸出金を含めた資産運用面で効果的な経営施策が実現出来なかったことが挙げられます。

(3) 管理を命ずる処分までの状況

①資本の状況

当信組は、平成13年3月期決算は不良債権の増加から貸倒引当金の増額を余儀なくされ、また、一部有価証券の売却損の計上及び減損処理により、当期損失は2億4千万円となりました。この結果、自己資本比率は前年度の5.24%から2.74%へと大幅に低下することとなりました。これにより、平成13年5月30日金融庁より銀行法第26条第1項の規定に基づく第一区分の「早期是正措置命令」を受け、平成13年6月14日にリストラの推進・自己資本の改善・不良債権の整理回収等自己資本充実策を織込んだ経営改善計画書を提出いたしました。

②自己資本回復の断念

平成13年6月14日に提出しました経営改善計画に基づき自己資本充実策を講じ、推進して参りましたが、増資は地域経済の停滞に伴う取引先の業況悪化等により計画の達成は難しく、関係団体等からの支援も困難な状況にありました。こうしたなか、前述しましたように9月末日現在では414百万円の債務超過に陥っていることが判明し、この状況を速やかに解消する確実な自己資本充実策が見込まれないことから、これ以上の事業継続は困難であり、当組合の財産をもって債務を完済できない状況にあるとの判断に基づき平成13年12月7日、預金保険法第74条第5項に基づく申出を行うにいたしました。

2. 業務及び財産の状況について

(1) 与信業務

当組合の与信業務については、主要営業地域である小川町を中心とした周辺地域の建設業、卸売・小売業・サービス業等の中小零細企業者や個人への融資が多くを占めております。

(計数・比率は13年3月期末現在)

<貸出残高推移> 店舗数：3か店

(単位：百万円、%)

	平成10年3月末		平成11年3月末		平成12年3月末		平成13年3月末		業界平均 (平成13年3月期)	
		構成比		構成比		構成比		構成比		構成比
貸出金残高	7,326	100.0	6,954	100.0	6,463	100.0	5,261	100.0	42,927	100.0
うち中小企業	5,753	78.5	5,374	77.3	5,014	77.6	3,974	75.5	29,059	67.7
うち個人	1,496	20.4	1,527	21.9	1,422	22.0	1,287	24.5	13,325	31.1
うちその他	77	1.1	53	0.8	27	0.4	—	—	543	1.2

※「その他」には、地方公共団体が含まれる。

(2) 預金業務

当組合の預金業務では個人預金の構成比が高く、主に中小企業主やその家族、従業員、知人への活動により維持されてまいりました。

<預金残高推移> 店舗数：3か店

(単位：百万円、%)

	平成11年3月末		平成12年3月末		平成13年3月末		業界平均 (平成13年3月末)	
		構成比		構成比		構成比		構成比
預金残高	13,443	100.0	13,107	100.0	12,794	100.0	65,732	100.0
うち個人預金	11,453	85.2	11,221	85.6	11,001	86.0	52,367	79.7
うち法人預金	1,524	11.3	1,343	10.3	1,309	10.2	11,118	16.9
うちその他	466	3.5	542	4.1	482	3.8	2,247	3.4

※「その他」には公金預金、金融機関預金が含まれる。

(3) 投資等業務

①投資有価証券

投資有価証券につきましては、従来より債券主体の運用を行ってまいりましたが、破綻公表後、資金繰り対策として売り切りを行い、残高は大幅に減少しました。

<投資有価証券残高推移>

(単位：百万円)

	平成11年3月末	平成12年3月末	平成13年3月末	平成13年3月末の評価損益
投資有価証券	2,911	2,610	2,473	△73
国債・地方債	145	246	—	—
社債	859	322	602	0
株式	0	10	65	△2
その他	1,906	2,029	1,805	△70
貸付有価証券	—	—	—	—

②商品有価証券

当信用組合は、商品有価証券は保有していません。

(4) 固定資産の状況

保有固定資産（営業用不動産、所有不動産）の状況は以下のとおりです。

今後は、業務運営上必要不可欠なもの以外は順次売却する方針といたします。

<固定資産の状況>

(平成13年9月末) (単位：百万円)

	土 地				建 物		
	件数	簿価 取得価格	評価額	含み損益	件数	簿価 取得価格	簿価 売却後
事業用 不動産	3	88	88	0	5	84	20
所有 不動産	—	—	—	—	—	—	—

(5) 不良債権の状況

当組合の不良債権は以下のとおりとなっています。

<リスク管理債権の状況>

(単位：百万円、%)

区 分	平成12年3月期		平成13年3月期		業界平均(13年3月期)	
	貸出金 残高	貸出金 に占め る割合	貸出金 残高	貸出金 に占め る割合	貸出金 残高	貸出金 に占め る割合
破綻先債権	1,578	24.4	1,132	21.5	1,163	2.3
延滞債権	1,791	27.7	1,324	25.2	4,402	8.8
3ヵ月以上延滞債権	34	0.5	2	0.0	195	0.4
貸出条件緩和債権	290	4.5	228	4.3	2,239	4.5
合 計	3,695	57.1	2,687	51.1	7,999	16.0

〈金融再生法の開示債権〉

(単位：百万円、%)

区 分	平成13年3月期		業界平均(平成13年3月期)	
	金額	債権の占める割合	金額	債権の占める割合
破産更生債権等	2,498	43.6	3,310	6.2
危険債権	408	7.1	2,509	4.7
要管理債権	231	4.1	2,382	4.5
正常債権	2,590	45.2	44,816	84.6
合 計	5,727	100.0	53,017	100.0

(6) 関係会社の状況

当組合では関係会社はありません。

3. 事業譲渡等の見込みについて

(1) 基本方針

①早期譲渡

預金保険機構による資金援助を前提に、円滑な事業譲渡を早期に行うことにより、金融仲介機能の維持および当組合事業価値の劣化防止に努めます。

② 優良な顧客基盤・資産の維持

優良な顧客基盤や資産を維持し、金融機関としての信任を取り戻すとともに、顧客の信頼回復に全力を尽くします。

③経費の削減

円滑な事業譲渡を行うため、人件費・物件費等の営業経費の削減を図ります。

④地域金融機能の維持

当組合の営業地域において、引き続き地域の中小零細企業者等に対する金融サービスの提供に支障が生じないように配慮いたします。

⑤内部管理体制の整備

内部事務の厳正化及び相互牽制の徹底など体制面の整備を図り、受皿金融機関への円滑な事業譲渡を目指します。

⑥責任追及体制の整備

預金保険法第83条に基づき、内部調査体制の整備を図り、旧経営陣等の責任を明確にいたします。

(2) 具体的施策

預金保険法の趣旨を十分に踏まえ、上記基本方針に則った業務運営に努めつつ、業務の円滑

な譲渡および善意かつ健全な取引先の保護のため、早期に事業譲渡を行うよう最大限努力いたします。

(3) 事業譲渡の見込み

事業譲渡を行う相手先については、信用組合としての事業特性や地域経済及び善意かつ健全な中小零細企業者を中心とする取引先への配慮を念頭に置き、事業譲渡先の選定を行った結果、那須信用組合と平成14年2月8日に事業譲渡契約を締結いたしました。今後については、早期に事業譲渡できるよう努力してまいります。